

現象	外観状態		主な原因	対策
	現象	状態		
④ ねじれ	ねじれて変形している		<ul style="list-style-type: none"> ○運動が速い ○偏心運動している ○摺動面の仕上不良 ○ねじられて装着 	<ul style="list-style-type: none"> ○リップバックインに換える ○偏心運動をなくする ○摺動面の仕上を良好にする ○装着に注意(グリースの塗布)
④ かじり	部分的にかじりの傷がある		<ul style="list-style-type: none"> ○装着の時、穴、ねじ部、縁部などで破損 	<ul style="list-style-type: none"> ○各部の面取をする ○装着の時、取付治具を使用する
④⑤ へたり	断面がみぞ部の状態に変形している		<ul style="list-style-type: none"> ○高温⇔低温下での繰り返し使用 ○温度、つぶししろ、流体の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴム材料の検討 ○みぞ寸法の検討
④ 全面摩耗	全体的にすり減っている		<ul style="list-style-type: none"> ○摺動面の仕上不良 ○潤滑剤が不十分 ○ちり、ごみ等の異物混入 	<ul style="list-style-type: none"> ○摺動面の仕上を良好にする ○潤滑剤を十分に与える ○十分に洗浄し、フィルター等を用いる
④⑤ 部分摩耗	摺動面が部分的にすり減っている		<ul style="list-style-type: none"> ○相手摺動面に傷がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手摺動面の仕上を良好にする
⑤ 硬化	硬くなりさらに折曲げるとき裂が入る		<ul style="list-style-type: none"> ○使用温度がゴムの耐熱限界を越えている 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴム材料の検討
⑤ 膨潤	軟らかくなり膨らんでしまう		<ul style="list-style-type: none"> ○ゴム材料がマッチしていない ○燃料油等で洗浄した 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴム材料の検討 ○燃料油等を使用しない
⑤ 傷	内、又は外面にこすれた傷		<ul style="list-style-type: none"> ○装着時にねじ山などで傷をつけた 	<ul style="list-style-type: none"> ○装着の時、取付治具を使用する
⑤ はみ出し	内、又は外面が全体的(部分的)にちぎれている		<ul style="list-style-type: none"> ○圧力、すきま、硬さの関係による ○膨潤による 	<ul style="list-style-type: none"> ○圧力、すきま、硬さの検討 ○バックアップリングを併用 ○ゴム材料の検討
⑤ むしれ	内、又は外面がつぶししろ分だけ切り取られてるか、部分的にえぐり取られている		<ul style="list-style-type: none"> ○面取りが不良 ○みぞ部の寸法が浅い 	<ul style="list-style-type: none"> ○面取を良好にする ○みぞ部の寸法を検討
⑤ オゾン裂	全面的にひび割れた状態		<ul style="list-style-type: none"> ○空気中にOリングを伸ばしたまま放置した ○ゴム材料がマッチしていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○伸長を与えないこと ○Oリングの表面に空気が触れないようにする ○ゴム材料の検討

備考：④……運動用 ⑤……固定用 点線……元の線径